

2025

IKIMONO



生きもの写真  
リトルリーグ

小中高生  
対象



受賞作品集

全国の小中高生186名から

計440作品が集まりました!

自然や生きものの魅力を  
切り取ったあらゆる写真を  
ぜひご覧ください!

【主催】

公益財団法人 セディア財団

【後援】 小諸市、小諸市教育委員会、公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (伊丹市昆虫館)、上田市、上田市教育委員会、株式会社コミュニティテレビこもろ、株式会社小諸新聞社、公益財団法人 森林文化協会、東信ジャーナル社、長野県、一般社団法人 長野県観光機構、一般社団法人 日本自然科学写真協会、公益社団法人 日本写真協会、特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会、公益財団法人 八十二文化財団

【協賛】 パナソニック株式会社、株式会社ミマキエンジニアリング、株式会社ケンコー・トキナー、株式会社ワイドトレード

【協力】 株式会社ワン・パブリッシング「CAPA」、「CAPA CAMERA WEB」、株式会社インプレス「デジタルカメラマガジン」、「デジカメ Watch」、株式会社日本写真企画「フォトコン」

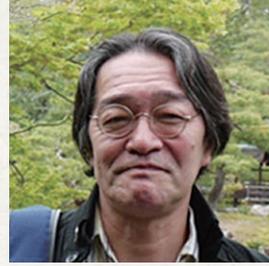
## 審査委員のご紹介



昆虫写真家 うんの かずお 海野 和男



写真家 あんじゅ 安珠



フォトエディター いしだ たつお 石田 立雄



科学写真家 いちじ くにお 伊知地 国夫

### 審査委員長 うんの かずお 海野和男先生からのメッセージ

公益財団法人セディア財団主催「生きもの写真リトルリーグ2025」の表彰式も、昨年度に続き、市立小諸高原美術館に入賞者を迎え、無事に現地で開催することができました。

年々写真のレベルは高まっており、今回は特に激戦となりました。最優秀作品賞（セディア財団賞）は昆虫の作品が受賞しましたが、昨年同様に野鳥の写真が多く、全体的にレベルの高さが印象的でした。また、生きものサミットでは、入賞者の被写体に対する豊富な知識に大いに驚かされました。応募作品は組写真が

多く見られましたが、「この一枚だけでも十分に魅力が伝わる」と感じられる作品もありました。今後は単写真の応募もさらに増えることを期待しています。あわせて、学生の皆さんには、もっと昆虫の写真にも挑戦していただきたいと感じました。

生きもの写真の子供の頃から撮ることで、これからの地球環境を身近なところから考える子供たちが育つことを願っています。

うんの かずお  
審査委員長 海野 和男

## 結果発表

### 最優秀作品賞〈セディア財団賞〉

神奈川県立川和高等学校 3年生  
おの そうだい  
小野 壮大 「孤高の散華」

### 優秀作品賞

#### 〈小学生部門〉

小諸市立東小学校 6年生  
はら なつき  
原 夏樹  
「雪月風花の鳥たち」

#### 〈中学生部門〉

奈良女子大学附属中等教育学校 3年生  
みなみに ゆいき  
南谷 結希  
「ときめく蝶」

#### 〈高校生部門〉

大妻中野高等学校 1年生  
えん ありさ  
顔 宥真  
「羽ばたいて」

### 小諸市長賞

大阪市立南田辺小学校 3年生  
いなとみ むくま  
稲富 六熊  
「いのち」

### 入選

渋谷区立富谷小学校 4年生  
いんなみ ともろう  
印南 友朗  
「ニイニゼミをおろシオヤアブ」

神戸市立御影中学校 3年生  
あらい しんいち  
新井 真一  
「コアジサシの繁殖」

相模原市立中央中学校 3年生  
いとう だいち  
伊藤 大智  
「水辺の親子愛」

兵庫県立伊丹北高等学校 2年生  
かたあか なおひさ  
片岡 尚久  
「大きな翼」

## 本選審査・表彰式の模様

2025年8月2日(土) 市立小諸高原美術館において、  
「生きもの写真リトルリーグ 2025」の本選審査・表彰式を開催しました。  
厳正な審査を経て受賞作品が選ばれ、会場には多くの応募者や関係者が集いました。  
表彰式は終始あたたかな拍手に包まれ、盛況のうちに幕を閉じました。



表彰式直前に行われた、本選審査の様子



表彰式の開催地、市立小諸高原美術館



受賞者のみなさんから作品への熱い思いをお話いただきました



副賞として一眼カメラ等の豪華賞品を授与



表彰式後は記念撮影を行いました

受賞者の皆さま、  
おめでとう  
ございます!

最優秀作品賞〈セディア財団賞〉

## 「孤高の散華」

神奈川県立川和高等学校 3年生 おの そうだい 小野 壮大



### ▶ 作品について

この作品で私が呈したいのは、一般的なハチ像への違和感である。彼らの世界を知りもせず、過剰なまでに駆逐、抑圧、排斥を繰り返す私たち人間。そんな私たちが恐怖や憎悪、ハチ＝悪という偏見を抱く様を、土足で蹂躪する構図をとることで風刺した。この作品を目にした1人でも多くの方が、ハチへの見方・接し方を変えてくれたら嬉しい。

## 優秀作品賞

### 〈小学生部門〉

## 「雪月風花の鳥たち」

はら なつき  
小諸市立東小学校 6年生 原 夏樹



### ▶ 作品について

これまで撮ってきた野鳥の写真のなかでも、自分が好きな4枚を、雪月風花の彩りとともにまとめてみました。

### 〈中学生部門〉

## 「ときめく蝶」

みなみに ゆい き  
奈良女子大学附属中等教育学校 3年生 南谷 結希



### ▶ 作品について

蝶の美しさや儚さ、たくましさ写真を撮りたいと思えるだけ接近して撮りました。特にゴイシジミは、アブラムシの甘露をなめているところに驚きながら撮りました。また、モンシロチョウは羽がボロボロなのですが、それでもすごく綺麗に見える蝶の美しさを撮れたと思います。

## 優秀作品賞

### 〈高校生部門〉

## 「羽ばたいて」

えん ありさ  
大妻中野高等学校 1年生 顔 宥真



### ▶ 作品について

この写真は、中学卒業前の家族旅行でハワイを訪れたときに撮ったものです。ビーチでくつろいでいると、そばの岩に白い鳩がとまり、思わずカメラを向けた瞬間、鳩は羽ばたいていきました。その姿が忘れられず、今でもお気に入りの一枚です。

## 小諸市長賞

## 「いのち」

いなとみ むくま  
大阪市立南田辺小学校 3年生 稲富 六熊



### ▶ 作品について

近くの池でカルガモの雛が生まれました。まだ生まれて3、4日くらいの雛たちです。お母さんの後を一生懸命ついていってくれど、はぐれる子がいて、見ているほくもドキドキ。たくさん泳いでごはんを食べたあとはシロツメクサのお花畑でひと休み。毎日が大ぼうけんです！

## 入選

### 「ニイニイゼミをおそうシオヤアブ」

いんなみ ともろう  
渋谷区立富谷小学校 4年生 印南 友朗



#### ▶ 作品について

シオヤアブがニイニイゼミをおそっている瞬間を撮影しました。シオヤアブが自分の体とほとんど同じ大きさのニイニイゼミをおそうとは思っていなかったため、驚きと発見でした。めずらしい瞬間が撮れてうれしかったです。

### 「水辺の親子愛」

いとう だいち  
相模原市立中央中学校 3年生 伊藤 大智



#### ▶ 作品について

子への愛情が強く感じられるカイツブリの子育てを写真にまとめました。懸命な姿に魅了されました。1枚目は抱卵中の様子、2枚目は一緒に泳ぐ親子、3枚目は給餌シーン、4枚目は巣立ち雛です。

### 「コアジサシの繁殖」

あらい しんいち  
神戸市立御影中学校 3年生 新井 真一



#### ▶ 作品について

卵からかえり、はじめはじっとしていたヒナたちが、観察を続けるうちに親鳥から餌をもらうところや親鳥のようにはばたく姿を見ることができました。何度も餌を運んでくるコアジサシの親鳥の頑張りやヒナたちの成長を感じました。

### 「大きな翼」

かたおか なおひさ  
兵庫県立伊丹北高等学校 2年生 片岡 尚久



#### ▶ 作品について

鳥と飛行機、それぞれの翼が同じ空に並んでいるのが目に入りました。人工物と生き物、違うかたちが同じ空に浮かんでいる様子を、そのまま写真にしました。

## 審査委員講評

各作品への講評をご紹介します。

今回の写真コンテストを踏まえて

自身の感性をさらに磨くとともに、

自然と人の共生について

見つめ直していただくことを期待しています。

### 優秀作品賞 「雪月風花の鳥たち」

小諸市立東小学校 6年生 原 夏樹

#### 講評(審査委員 安珠)

原君は昨年の小諸市長賞に続き、小学生最後の応募で優秀作品賞を受賞しました。彼の写真は、とてもセンスがあり、工夫があります。四季折々の自然の美しさを表現するタイトルに合わせた4枚組の作品ですが、今まで撮った写真の中から、季節に合わせて鳥の作品を選んだそうです。鳥の大群を一枚入れたことで、鳥の羽ばたく世界が広がりました。

### 優秀作品賞 「羽ばたいて」

大妻中野高等学校 1年生 顔 宥真

#### 講評(審査委員 海野 和男)

真っ白な鳩が、海水浴場で、青空をバックに飛び立つところを、素晴らしいタイミングで撮影しています。気持ちの良い写真で、他の作品に組写真が多い中で、単写真の魅力を最大限に引き出しています。その感性に脱帽です。生きもの写真リトルリーグでは、組写真が多いのですが、単写真でも生き物の素晴らしさを十分に引き出すことができるのです。

### 入賞 「ニイニゼミをおそうシオヤアブ」

渋谷区立立富小学校 4年生 印南 友朗

#### 講評(審査委員 海野 和男)

シオヤアブは、他の昆虫を襲い、口を突き刺し体液を吸う昆虫です。しばしば自分より大きい昆虫も襲いますが、ニイニゼミほどの大きさの昆虫を襲うのは、長年、昆虫を専門に撮影してきた僕も見ることがありません。そのことがこの作品を選んだ大きな理由となっています。よくぞ、こんな珍しいシーンを撮影できたと感じます。

### 入賞 「コアジサシの繁殖」

神戸市立御影中学校 3年生 新井 真一

#### 講評(審査委員 石田 立雄)

砂浜に作られたコアジサシの繁殖のための保護エリアのなごころでの撮影とのことですが、各シーンが印象的です。砂の上に産み落とされた卵を見つめるようなシーンから始まるのも「親子」の物語的です。生まれたばかりの雛が一生懸命はばたくシーンもけなげで目を引きつけるし、子を体の下に隠すような仕草も、絶妙なチャンスを超望遠レンズでよくとらえていますね。日々通った成果ですね。

### 最優秀作品賞 「孤高の散華」

神奈川県立川和高等学校 3年生 小野 壮大

#### 講評(審査委員 伊知地 国夫)

ともするとこわがられることの多いスズメバチですが、ハチの視点に立って、その生き方を的確な撮影技術と構図で表し、最優秀作品賞(セディア財団賞)に選ばれました。真正面からとらえた写真には、高速で羽ばたく羽の動きがねじれなくまっすぐに写っていて、撮影機材の使い方もとても優れていると思います。物語を感じる4枚の組写真から、小野さんのスズメバチへの思いが伝わってきます。

### 優秀作品賞 「ときめく蝶」

奈良女子大学附属中等教育学校 3年生 南谷 結希

#### 講評(審査委員 海野 和男)

撮影者が、蝶に深い愛情を注いでいるのが、伝わってくる写真です。4枚の写真は、それぞれ全く違う撮影方法で撮影されています。ユリの花に來るキアゲハは大変よく撮れています。一見、良い写真と思えないスジグロシロチョウの写真はフラッシュを使ったのでしょうか、とても強い写真になっています。またボロボロのモンシロチョウも印象深い写真です。

### 小諸市長賞 「いのち」

大阪市立南田辺小学校 3年生 稲富 六熊

#### 講評(審査委員 石田 立雄)

カルガモの雛とお母さんを撮った作品ですが、シーンの選び方が確で画面内の親子のサイズ感も非常にうまいです。親子が移動する姿、一緒に休むところの見せ方と状況ごとの撮り方にも気をつけていますね。親子が池端を泳いでいる姿の密集感、お母さんの愛情が見えるような雛のアップ、お花畑でつるぐ様子、雛たちが寄り添って休む姿と、被写体(親子)のサイズ選びも抜群で、タイトルの「いのち」の意味が力強く伝わってきます。

### 入賞 「水辺の親子愛」

相模原市立中央中学校 3年生 伊藤 大智

#### 講評(審査委員 伊知地 国夫)

タイトル通りの親子愛を感じる作品です。抱卵から巣立ちまでの親鳥の愛情がとてもよく感じられます。親鳥と一緒に泳ぐシーンでは、ふり返って親鳥を見ているようすがとても微笑ましいですね。また、このようなチャンスをとてもうまくとらえていると思います。1羽で泳いでいる巣立ちのシーンを見ていると、こちらも親鳥になった気持ちになってきます。

### 入賞 「大きな翼」

兵庫県立伊丹北高等学校 2年生 片岡 尚久

#### 講評(審査委員 伊知地 国夫)

日常で見落としてしまう一瞬を面白い発想で作品にしました。家の近くを飛行機が通るので、鳥と合わせて撮ったそうです。それぞれ違う鳥、飛行機もよく見ると違って、飛行機にピントが合っている作品は、『鬼滅の刃』が描かれた機体を見せたかったそうです。コンセプトの面白さを裏切らない作品のクオリティに「鳥」への愛を感じます。

## コンテスト要項

生きもの写真リトルリーグは「生きもの」をテーマとした写真コンテストです。自然や生きものに興味を持つ、全国の小学生・中学生・高校生を対象に、全国各地に暮らす生きものたちの魅力を表現した写真を応募いただきました。この写真コンテストが、子どもたちが自然や生きものを見つめ、自然と人の共生を自発的に考えることで、写真や芸術の表現力を育む機会になればと願っています。

### テーマ

「生きもの」 ※生きものには植物・きのこなどを含み、人は含みません。

### 対象

小学生、中学生、高校生の個人の応募

※応募にあたっては、保護者の方の同意が必要となります。

### 募集内容

単写真または最大4枚の組写真。

お一人あたりの応募は最大4作品まで。

一枚につき10MB以下のJPEGデータでご応募ください。

### 応募期間

2025年4月1日(火)～6月1日(日)

### 賞と賞品

- ◆最優秀作品賞(セディア財団賞):賞状、記念楯、副賞(LUMIX「DC-G100DK」とワイドトレード「テンジン7L ショルダーバッグ」)……1点
- ◆優秀作品賞:賞状、記念楯、副賞(LUMIX「DC-FZ85D」)……小中高生から各1点ずつ3点
- ◆小諸市長賞:賞状、記念楯、副賞(ケンコー・トキナー「Artos 7×50」)……1点
- ◆入選:賞状、副賞(ケンコー・トキナー「LOGOS 8×21DH GY」)……4点
- ◆参加賞:カメラレンズやスマホに使えるマルチクロス……応募者全員

### 審査方法

小・中・高それぞれ3点ずつ、計9点を予選審査にて選定し、本選にて各賞を決定。

※本選進出した場合、下記2名を市立小諸高原美術館にて8月2日(土)開催の本選・表彰式に前日の宿泊よりご招待いたします。(現地までの往復の交通費を含みます。)応募者/その保護者または担当教諭1名。

〈審査委員長〉 審査委員長 / 海野 和男 うんの かずお 審査委員 / 安珠 あんじゆ  
審査委員 / 石田 立雄 いしだ たつお  
審査委員 / 伊知地 国夫 いちぢくにお

### 入賞発表

2025年8月上旬

### 応募方法

撮影した写真データをGoogleフォームより必要事項入力の上、ご応募ください。

### 個人情報のお取り扱い

応募によりご提供いただいた個人情報は、事務局で厳重に管理し、生きもの写真リトルリーグの運営上の各種手続き(応募に関する結果連絡、賞品の発送、入賞者・作品の発表など)以外には利用しません。

## 経過報告

### 作品募集

2025年4月1日(火)よりセディア財団HP上で情報公開と作品募集を開始しました。

### 締め切り

6月1日(日)の応募締め切り日までに、全国の小学生・中学生・高校生186名から、計440作品もの力作が集まりました。

### 予選審査

審査期間:6月2日(月)～6月26日(木)

応募作品を慎重に絞り込み、最終審査会への進出作品を小・中・高それぞれ3点ずつ、計9点を選出しました。

### 最終審査会

開催日:8月2日(土) 場所:市立小諸高原美術館

予選審査で絞り込まれた作品9点を対象に厳正に審査を実施し、受賞作品を決定しました。

※受賞者・受賞作品は1ページ参照